第7章 接道部緑化の状況

7 **—** 1 調査の概要

中野区全域の幅員 3.6m以上の道路及び河川沿いの道路等を調査対象道路と し、接道部の緑化状況について現地調査を行った。調査対象および調査項目を 表 7-1 に示す。

= 7 1	接道部緑化調査の概要
衣 /-	按19部域化調管の概要

項目	内容
生け垣	高さ 1.2m以上、延長 1.8m以上の樹木が列状に隙間なく植えられている
	垣根状のもの
植樹帯	垣根状の植樹帯でも高さ 30cm 以上、1.2m 未満で延長 1.8m以上のもの
樹種名	一般的な科または属名
延長	調査結果を図化した図形延長

- ※ 生け垣と植樹帯が混在し前面が植樹帯、背面が生け垣の場合は、生け垣を優先としている。但し、1敷地内に生け 垣と植樹帯が個々に分かれて存在する場合は、生け垣と植樹帯を各1箇所として調査を行っている。
- ※ 門扉などの緑化されていない箇所が $1 \, \mathrm{m}$ 未満のものは接道部緑化に含む $(1 \, \mathrm{m}$ 以上は緑化されていないものとする)。
- ※ 生け垣は、前面に視線を遮らない程度のフェンスがある場合は調査対象とする。
- ※ 塀越しの緑化は、塀高 40cm 以上 120cm 未満で塀高の 1/2 以上かつ連続した緑(生垣状になっているもの)を調査対 象とする。
- ※ 植木鉢、プランターは、移動不可能なものは調査対象とするが、移動可能なものは調査対象外とする。
- ※ 異なる建物用途にまたがる場合、その用途境で箇所数及び延長を分けて計測する。

【対象とする生け垣】



1.8m以上



1.8m以上





7-2 調査結果

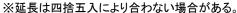
1)接道部緑化の状況

区内の接道部緑化の状況を表 7-2、図 7-1、図 7-2 に示す。また、接道部緑化の分布図を図 7-5 に示す。

生け垣が 3,068 箇所で延長 33,476.0 m、植樹帯は 3,075 箇所で延長 30,050.7 mであった。規模別の接道部緑化延長は、10m未満の接道部緑化の占める割合が生け垣 33.11%、植樹帯 37.39%と最も高い。次いで $10\sim20m$ の接道部緑化が多く占めており、区内の接道部緑化の約 $6\sim7$ 割は 20m未満の接道部緑化から構成されていることが分かる。

規模	生	†垣	植植	討帯	合計						
玩 怪	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)	箇所	延長(m)					
10m未満	2,049	11,083.5	2,177	11,235.9	4,226	22,319.4					
10~20m	648	8,876.1	611	8,503.8	1,259	17,379.9					
20∼30m	181	4,365.5	161	3,846.2	342	8,211.8					
30∼50m	130	4,875.7	83	3,171.1	213	8,046.7					
50m以上	60	4,275.1	43	3,293.8	103	7,568.9					
合計	3,068	33,476.0	3,075	30,050.7	6,143	63,526.7					

表 7-2 接道部緑化の状況



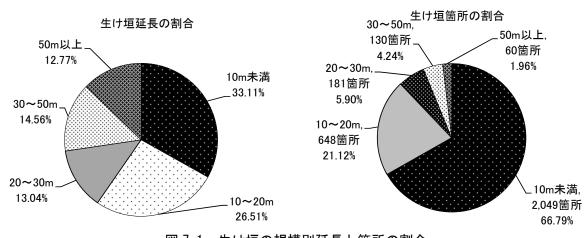
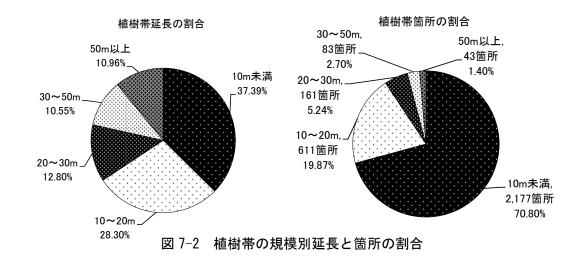


図 7-1 生け垣の規模別延長と箇所の割合



次に生け垣・植樹帯の樹種の状況について表 7-3、表 7-4、樹種別の接道部延 長割合を図 7-3、図 7-4 に示す。

生け垣については89種の樹種(混植を含む)が認識された。

延長が最も長いのはカナメモチの 11,766.2m (948 箇所) で区全体の生け垣延 長の 35.1%を占める。次いでカイヅカイブキの 4,246.8m (479 箇所) で全延長 の 12.7%であった。

植樹帯では101種の樹種(混植を含む)が確認された。延長が最も長いのは、サツキツツジ(1,092箇所)の9,695.6mで、区全体の植樹帯延長の32.3%を占める。次いでその他ツツジが6,917.7m(621箇所)で全延長の23.0%であった。

表 7-3 生け垣の樹種の状況

樹種	箇所	延長(m)
カナメモチ	948	11,766.2
カイヅカイブキ	479	4,246.8
サザンカ	168	1,867.9
ヒイラギモクセイ	130	1,771.8
キンモクセイ	136	1,400.3
イヌツゲ	116	1,160.6
ヒバ	93	835.4
トキワマンサク	68	711.6
サワラ	61	710.7
コノテガシワ	113	679.8
その他	756	8,324.9
合計	3,068	33,476.0

※延長は四捨五入により集計値が合わない場合 がある。

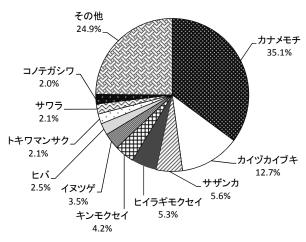
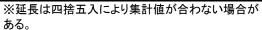


図 7-3 生け垣の樹種別延長割合

表 7-4 植樹帯の樹種の状況

樹種	箇所	延長(m)
サツキツツジ	1,092	9,695.6
その他ツツジ	621	6,917.7
イヌツゲ	214	1,975.0
ドウダンツツジ	128	1,294.9
アベリア	132	1,129.8
ハマヒサカキ	64	533.9
サザンカ	48	476.1
ナンテン	47	389.9
ササ	39	301.1
その他	690	7,336.7
合計	3,075	30,050.8



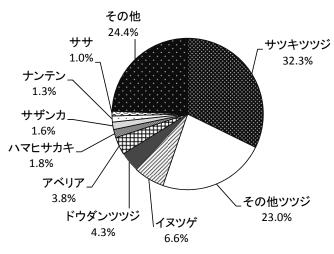
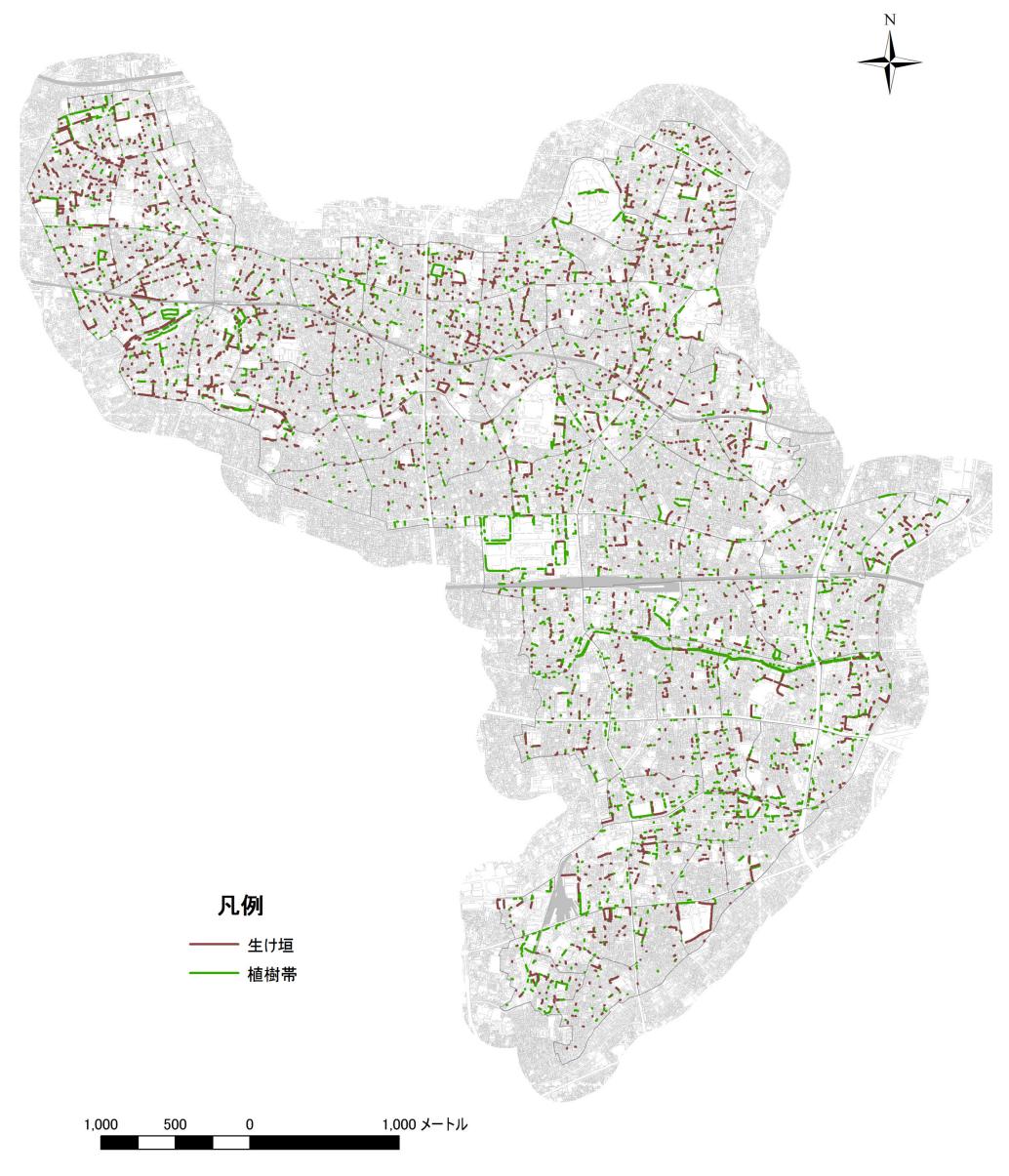


図 7-4 植樹帯の樹種別延長割合



この背景の地図は、東京都都市整備局と(株)ミッドマップ東京が著作権を有しています。(利用許諾番号) MMT 利許第 27009 号-51

図 7-5 接道部緑化の分布図

2) 区民活動センター別・町別の接道部緑化の状況

区民活動センター別、町別の接道部緑化分布状況を表 7-5、7-6 に示す。

区内の接道部延長 676,896m (幅員 3.6m以上の道路及び河川沿いの道路等に接する敷地の接道部分の延長)に占める生け垣と植樹帯による接道部緑化率は、9.39%であった。

区民活動センター別で最も接道部緑化率が高いのは、桃園地域の 13.18%、次いで東部地域の11.65%であった。桃園地域では、桃園川緑道沿いの植樹帯や、中野四丁目の私立大学における延長の長い植樹帯が確認された。東部地域においても桃園川緑道沿いの植樹帯が続き、実践学園中学校・高等学校、宝仙学園中学校・高等学校、区立第十中学校や複数の集合住宅における接道部緑化が確認された。次いで、上鷺宮地域 10.83%、鷺宮地域 10.82%と緑化率がほぼ同率で高い。上鷺宮は、比較的多くの住宅地に接道部緑化が分布している。また、都営及び民営の集合住宅、都立稔ヶ丘高等学校や区立小学校周囲に連続性のある延長の長い接道部緑化が確認された。鷺宮地域では、鷺宮六丁目アパートの植樹帯、その他集合住宅における接道部緑化が多く確認された。

一方、大和地域の接道部緑化率は 6.33% と最も低く、次いで沼袋地域が 6.52% であった。大和地域は、接道部緑化の 1 箇所当たり延長が 7.7m と小規模である。 沼袋地域においても、1 箇所当たり延長が 8.4m と接道部緑化が比較的小規模であることが接道部緑化率の低い要因として挙げられる。

町別では、中央の接道部緑化率が 14.75%と最も高い。これは桃園川緑道沿いの植樹帯や東部地域に属する学校等における延長の長い接道部緑化による。次いで、白鷺の接道部緑化率が 14.43%と高い。白鷺では都営の集合住宅(公社鷺宮西住宅、都営白鷺一丁目アパート及び白鷺一丁目第二・第三アパート)や民営の集合住宅、また特別養護老人ホームしらさぎホームや区立西中野中学校における延長の長い接道部緑化が確認された。

一方、沼袋では 5.91%と接道部緑化率が最も低く、次いで大和町が 7.21%、野方が 7.36%であった。いずれも 1 箇所当たり延長が 8m 台と比較的低いことが緑化率が低い要因として挙げられる。また、接道部緑化率の高い地域(町)では、集合住宅における接道部緑化が多く確認されたが、調査対象となる集合住宅が多く存在する江古田地域(町別:江古田、江原町)における接道部緑化率はそれほど高くない。

表 7-5 区民活動センター別接道部緑化の状況

	双 / 0 区以/1 到 に ファー 加 技 但 印 條 に ツ ハ ル											
区民活動	面積	接道部		生	ナ垣+植樹帯							
センター	山傾 (ha)	延長 (m)	箇所	延長(m)	1箇所当たり 延長(m)	10ha当たり 延長(m)	接道部 緑化率					
南中野	148.5	64,254	505	5,354.5	10.6	360.5	8.33%					
弥生	76.3	34,765	339	3,555.2	10.5	465.8	10.23%					
東部	138.1	53,872	545	6,277.5	11.5	454.4	11.65%					
鍋横	72.4	25,540	192	2,008.6	10.5	277.6	7.86%					
桃園	111.7	39,527	404	5,211.4	12.9	466.5	13.18%					
昭和	77.2	27,869	204	1,988.4	9.7	257.6	7.14%					
東中野	33.7	14,327	113	1,437.5	12.7	427.1	10.03%					
上高田	85.5	32,798	229	2,649.9	11.6	310.0	8.08%					
新井	72.5	32,394	263	2,731.9	10.4	376.9	8.43%					
野方	128.3	56,245	528	5,007.4	9.5	390.3	8.90%					
沼袋	89.0	48,741	379	3,175.6	8.4	356.7	6.52%					
江古田	142.9	69,084	648	6,030.1	9.3	421.9	8.73%					
大和	74.4	24,675	204	1,562.9	7.7	210.0	6.33%					
鷺宮	205.3	99,349	1,034	10,748.1	10.4	523.6	10.82%					
上鷺宮	101.7	53,458	556	5,787.7	10.4	569.1	10.83%					
区全体	1,557.5	676,896	6,143	63,526.7	10.3	407.9	9.39%					

表 7-6 町別接道部緑化の状況

		衣 /	ひ一門が弦								
	面積	接道部		生	け垣+植樹	帯					
町名	面復 (ha)	延長 (m)	箇所	延長(m)	1箇所当たり 延長(m)	10ha当たり 延長(m)	接道部 緑化率				
南台	82.8	36,871	297	3,212.5	10.8	388.1	8.71%				
弥生町	101.1	46,084	365	4,049.7	11.1	400.6	8.79%				
本町	107.6	40,374	363	3,732.8	10.3	346.8	9.25%				
中央	115.4	43,225	474	6,376.9	13.5	552.8	14.75%				
東中野	95.0	40,449	326	3,097.1	9.5	325.9	7.66%				
中野	145.6	50,059	467	5,480.2	11.7	376.4	10.95%				
上高田	100.6	37,305	268	3,169.6	11.8	315.0	8.50%				
新井	79.7	36,024	300	3,066.0	10.2	384.6	8.51%				
沼袋	67.3	36,177	247	2,138.7	8.7	318.0	5.91%				
松が丘	36.7	17,700	188	1,723.3	9.2	470.2	9.74%				
江原町	51.5	27,281	243	2,285.0	9.4	443.3	8.38%				
江古田	76.5	36,667	349	3,058.6	8.8	399.8	8.34%				
丸山	27.4	16,807	159	1,488.1	9.4	543.0	8.85%				
野方	92.8	37,695	341	2,774.6	8.1	299.1	7.36%				
大和町	69.9	22,087	195	1,592.9	8.2	227.8	7.21%				
若宮	66.2	29,506	280	2,452.7	8.8	370.3	8.31%				
白鷺	61.1	31,714	366	4,574.8	12.5	748.2	14.43%				
鷺宮	88.5	43,248	399	3,834.6	9.6	433.3	8.87%				
上鷺宮	91.8	47,624	516	5,418.6	10.5	590.5	11.38%				
区全体	1,557.5	676,896	6,143	63,526.7	10.3	407.9	9.39%				

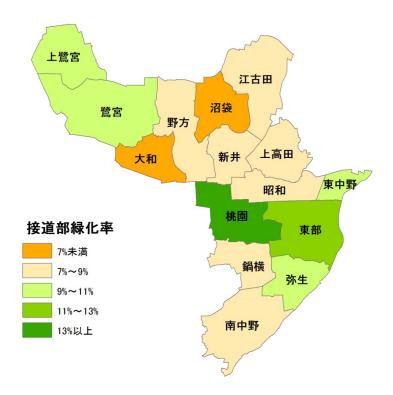


図 7-6 区民活動センター別接道部緑化率の状況

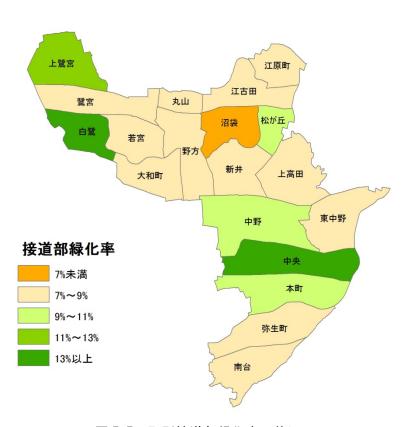


図 7-7 町別接道部緑化率の状況

3) 用途地域別の接道部緑化の状況

用途地域別の接道部緑化の状況を表 7-7 に示す。

準工業地域では、1 箇所当たり延長が 15.0m と最も長い。これは、主に南台 五丁目における大規模商業施設における植樹帯や南台五丁目の集合住宅の接道 部緑化による。また、東京地下鉄中野車両管理所中野工場においても規模の大 きな生け垣が確認された。

10ha 当たり延長が長いのは、準工業地域(特別工業地区)の 765.2m に次いで、第1種住居地域の 580.1m、第1種低層住居専用地域(建ペい率 40%)の 548.1m、であった。第1種住居地域は、主に中野通りや新青梅街道沿いの集合住宅等における接道部緑化が確認された。第1種低層住居専用地域は、上鷺宮に位置しており、都営及び民営の集合住宅、都立稔ヶ丘高等学校や区立小学校に連続性のある延長の長い接道部緑化が確認され、民有地においては生け垣の分布が多く確認された。

表 7-7 用途地域別接道部緑化の状況

			建	T. VA T 1+		生け垣			植樹帯			生け垣+柏	植樹帯	
	用途地域		べい 率	用途面積 (ha)	箇所	延長	1箇所 当たり 延長(m)	箇所	延長	1箇所 当たり 延長(m)	箇所	延長 (m)	1箇所 当たり 延長(m)	10ha当たり 延長(m)
		第1種低層住居専用地域	40	59.94	273	2,587.5	9.5	75	698.1	9.3	348	3,286	9.4	548.1
		第1種低層住居専用地域	50	115.94	370	4,301.5	11.6	187	1,572.1	8.4	557	5,874	10.5	506.6
		第1種低層住居専用地域	60	458.56	1,156	10,725.3	9.3	687	5,920.5	8.6	1,843	16,646	9.0	363.0
	第	1種低層住居専用地域 計		634.45	1,799	17,614.4	9.8	949	8,190.7	8.6	2,748	25,805	9.4	406.7
	第	1種中高層住居専用地域	60	512.33	772	9,947.0	12.9	1,007	11,459.8	11.4	1,779	21,407	12.0	417.8
	第	2種中高層住居専用地域	60	3.97	4	32.1	8.0	15	122.4	8.2	19	155	8.1	389.4
	第	1種住居地域	60	66.54	139	1,879.0	13.5	207	1,980.9	9.6	346	3,860	11.2	580.1
住	居	·系		1,217.28	2,714	29,472.5	10.9	2,178	21,753.8	10.0	4,892	51,226	10.5	420.8
	近	隣商業地域	80	245.22	284	2,869.4	10.1	699	6,158.8	8.8	983	9,028	9.2	368.2
	商	業地域	80	67.69	53	720.2	13.6	151	1,588.9	10.5	204	2,309	11.3	341.1
啓	業	系		312.91	337	3,589.6	10.7	850	7,747.6	9.1	1,187	11,337	9.6	362.3
		準工業地域	60	18.70	6	188.2	31.4	9	115.9	12.9	15	304	20.3	162.6
		準工業地域(特別工業地区)	60	8.61	11	225.6	20.5	38	433.4	11.4	49	659	13.4	765.2
	準	工業地域		27.32	17	413.8	24.3	47	549.3	11.7	64	963	15.0	352.6
I	業	系		27.32	17	413.8	24.3	47	549.3	11.7	64	963	15.0	352.6
		区全体		1,557.51	3,068	33,476.0	10.9	3,075	30,050.7	9.8	6,143	63,527	10.3	407.9

4) 土地利用別の接道部緑化の状況

土地利用別の接道部緑化の状況を図 7-8、表 7-8 に示す。

接道部緑化箇所では独立住宅と集合住宅を合わせた住宅用地が、全体の71.8%を占めている。接道部緑化延長では住宅用地が全体の62.4%といずれも区全体の接道部緑化の半数以上を占めていることから、多くの接道部緑化は住宅用地に分布することが分かる。集合住宅では、1箇所当たり延長が生け垣12.4m、植樹帯8.5mと独立住宅の生け垣7.5m、植樹帯6.1mと比較し、規模の大きい接道部緑化が分布していることが分かる。

施設別では、1 箇所当たり延長は教育施設が 21. 4m と最も長く、特に生け垣においては、生け垣箇所数及び延長が住宅用地に次いで 127 箇所、3,312.6m である。公園・運動場等では、生け垣(51 箇所、775.1m)と比較し植樹帯(295 箇所、4,909.1m)が多く確認された。また事務所建築物においても生け垣(22 箇所、376.4m)と比較し多くの植樹帯(147 箇所、1,694.3m)の分布が確認された。

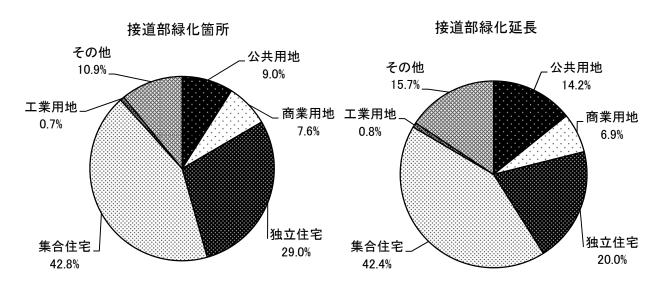


図 7-8 土地利用別接道部緑化箇所・延長の割合

表 7-8 土地利用別接道部緑化の状況

				生け垣			植樹帯		4	生け垣+植樹帯		
区分	主用途	細分類	箇所	延長(m)	1箇所当たり 延長(m)	箇所	延長(m)	1箇所当たり 延長(m)	箇所	延長(m)	1箇所当たり 延長(m)	
	官公庁施設		16	150.5	9.4	48	567.7	11.8	64	718.2	11.2	
		教育施設	127	3,312.6	26.1	125	2,079.6	16.6	252	5,392.2	21.4	
	教育文化施設	文化施設	3	56.6	18.9	18	143.3	8.0	21	199.8	9.5	
公共		宗教施設	37	542.9	14.7	36	335.9	9.3	73	878.8	12.0	
用用	厚生医療施設	医療施設	10	141.1	14.1	29	459.2	15.8	39	600.3	15.4	
地	序工区惊厄议	厚生施設	42	584.0	13.9	56	613.3	11.0	98	1,197.3	12.2	
16	供給処理施設	供給施設	1	4.8	_	4	34.4	8.6	5	39.2	7.8	
		処理施設	0	0.0	_	1	7.7	7.7	1	7.7	7.7	
	計		236	4,792.5	20.3	317	4,241.0	13.4	553	9,033.5	16.3	
	事務所建築物		22	376.4	17.1	147	1,694.3	11.5	169	2,070.7	12.3	
	専用商業施設	商業施設	10	143.5	14.4	36	397.0	11.0	46	540.5	11.8	
商	守用问未心以	公衆浴場等	0	0.0	_	2	14.5	7.2	2	14.5	7.2	
常業	住商併用建物		120	860.9	7.2	110	691.3	6.3	230	1,552.2	6.7	
用	宿泊・遊興施設	宿泊施設	3	24.1	_	7	91.7	13.1	10	115.8	11.6	
地		遊興施設	0	0.0	_	0	0.0	_	0	0.0	_	
تا د	スポーツ興行	スポーツ施設	0	0.0	_	8	67.5	8.4	8	67.5	8.4	
	施設	興行施設	0	0.0	_	0	0.0	_	0	0.0	_	
	計		155	1,405.0	9.1	310	2,956.3	9.5	465	4,361.3	9.4	
住宅	独立住宅		1,305	9,752.8	7.5	478	2,930.3	6.1	1,783	12,683.1	7.1	
用地	集合住宅		1,170	14,529.0	12.4	1,457	12,414.8	8.5	2,627	26,943.7	10.3	
713265	計		2,475	24,281.8	9.8	1,935	15,345.1	7.9	4,410	39,626.9	9.0	
ェ	専用工業	専用工業・ 作業場	1	8.6	8.6	5	26.4	5.3	6	35.0	5.8	
業	住居併用工場		7	49.3	7.0	7	40.0	5.7	14	89.3	6.4	
用	倉庫•運輸	運輸施設等	10	231.5	23.2	7	50.0	7.1	17	281.6	16.6	
地	関係施設	倉庫施設等	2	28.7	14.4	6	93.5	15.6	8	122.2	15.3	
	計		20	318.1	15.9	25	209.9	8.4	45	528.1	11.7	
農業用地	農林漁業施設		0	0.0	_	0	0.0	_	0	0.0	_	
	屋外利用地· 仮設建物		58	783.6	13.5	84	791.4	9.4	142	1,575.0	11.1	
\	公園·運動場等		51	775.1	15.2	295	4,909.1	16.6	346	5,684.2	16.4	
	未建築宅地· 未利用地		35	607.2	17.3	75	985.4	13.1	110	1,592.6	14.5	
\	道路		0	0.0	_	0	0.0	_	0	0.0	_	
\	鉄道•港湾等		18	228.5	12.7	6	110.2	18.4	24	338.7	14.1	
\	計		162	2,394.3	14.8	460	6,796.1	14.8	622	9,190.4	14.8	
農 用地	畑		7	124.5	17.8	3	53.8	_	10	178.4	17.8	
	水面•河川•水路		13	159.7	12.3	25	448.5	17.9	38	608.2	16.0	
	森林		0	0.0		0	0.0	_	0	0.0	_	
	計		13	159.7	12.3	25	448.5	17.9	38	608.2	16.0	
	その他		0	0.0	_	0	0.0	_	0	0.0	_	
	区全体		3.068	33,476.0	10.9	3.075	30.050.7	9.8	6.143	63,526.7	10.3	
			0,000	50,470.0	10.0	0,070	50,000.7	0.0	0,170	50,020.7	10.0	

7-3 接道部緑化の推移

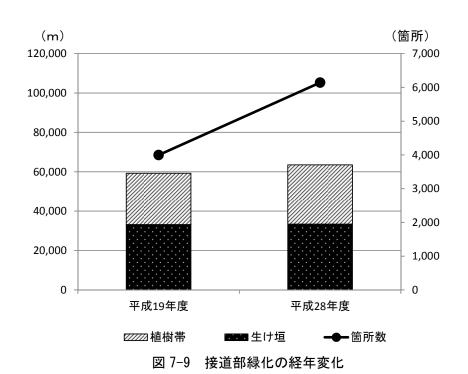
平成 19 年度調査から平成 28 年度調査の接道部緑化の経年変化を表 7-9、図 7-9 に示す。

なお、平成19年度調査で用いた東京都土地利用現況データは、敷地単位で作成されていたが、平成28年度調査で用いた東京都土地利用現況データは、敷地単位ではなく、建物用途ごとに作成されていたため接道部緑化箇所数及び延長の数え方は異なる。

区全体で、接道部緑化は2,147箇所の増加、延長は4,244.7mの増加であった。 そのうち、生け垣(高さ1.2m以上、延長1.8m以上)は797箇所、244.4mの 増加、植樹帯(高さ30cm以上、1.2m未満)は、1,350箇所、4,000.3mの増加 であった。

平成19年度 平成28年度 増減 延長(m) 延長(m) 箇所 延長(m) 箇所 箇所 生け垣 33,231.6 33,476.0 244.4 2,271 3,068 797 30,050.7 4,000.3 植樹帯 1,725 26,050.5 3,075 1,350 区全体 3,996 59,282.1 6,143 63,526.7 2,147 4,244.7

表 7-9 接道部緑化の経年変化



133

樹種別延長の経年変化を表 7-10、表 7-11 に示す。

平成19年度から平成28年度で最も増加した生け垣は、カナメモチの1,349.6mであった。次いで、キンモクセイが1,033.3mである。カイヅカブキは、-1,292.5mの減少であったが、平成19年度調査においても、カイヅカイブキは2位であったことから引き続き生け垣に多く用いられる樹種であることが分かる。また、ヒバ、トキワマンサク、コノテガシワは平成19年度調査では上位樹種としてあがらなかったが、平成28年度調査では多く確認された。

植樹帯で最も増加した樹種は、その他ツツジの1,143.4m、次いでイヌツゲの934.2mであった。サツキツツジは-2,131.2mと減少したが、平成19年度調査においても最も多く確認された樹種であった。また平成28年度調査では、ドウダンツツジ、ハマヒサカキ、サザンカ、ナンテン、ササが新たに確認された。

表 7-10 生け垣の樹種別経年変化

樹種	平成19年度 (m)	平成28年度 (m)	増減 (m)	変化率
カナメモチ	10,416.6	11,766.2	1,349.6	113
カイヅカイブキ	5,539.3	4,246.8	-1,292.5	77
サザンカ	1,460.5	1,867.9	407.4	128
ヒイラギモクセイ	1,467.4	1,771.8	304.4	121
キンモクセイ	367.0	1,400.3	1,033.3	382
イヌツゲ	1,626.1	1,160.6	-465.5	71
ヒバ	164.3	835.4	671.1	508
トキワマンサク	241.8	711.6	469.8	294
サワラ	1,270.6	710.7	-559.9	56
コノテガシワ	383.9	679.8	295.9	177
その他	6,441.2	8,324.9	1,883.7	129

表 7-11 植樹帯の樹種別経年変化

樹種	平成19年度 (m)			変化率
サツキツツジ	11,826.8	9,695.6	-2,131.2	82
その他ツツジ	5,774.4	6,917.7	1,143.4	120
イヌツゲ	1,040.7	1,975.0	934.2	190
ドウダンツツジ	1,189.5	1,294.9	105.4	109
アベリア	873.9	1,129.8	255.9	129
ハマヒサカキ	227.6	533.9	306.3	235
サザンカ	79.3	476.1	396.8	601
ナンテン	190.5	389.9	199.4	205
ササ	204.6	301.1	96.5	147
その他	3,626.4	7,336.7	3,710.3	202

町別の接道部緑化延長の経年変化を表 7-12 に示す。

町別では、増加が12、減少が7であった。

町別で最も接道部緑化が増加したのは、東中野の1,445.5m、次いで中央の1,082.3mであった。東中野では、集合住宅の生け垣や桃園川緑道における植樹帯等の比較的延長の長い接道部緑化の増加が確認された。中央では、東中野と同様に桃園川緑道における植樹帯の増加、また実践学園中学校・高等学校、宝仙学園中学校・高等学校、区立第十中学校においては、新たに接道部緑化が確認された。その他にも住宅地における集合住宅の新設等に伴う接道部緑化がみられた。

一方、町別で最も接道部緑化延長が減少したのは上鷺宮の-473.6m、次いで沼袋の-389.6m、丸山の-133.9mであった。上鷺宮では、大規模な集合住宅における生け垣が消失した。沼袋、丸山についてはいずれも住宅地における接道部緑化の消失が確認された。

表 7-12 町別の接道部緑化延長の経年変化

		生け垣		植樹帯			合計		
町名	平成19年度	平成28年度	増減	平成19年度	平成28年度	増減	平成19年度	平成28年度	増減
南台	1,422.5	1,860.1	437.6	1,511.5	1,352.4	-159.1	2,934.0	3,212.5	278.5
弥生町	2,030.9	1,882.2	-148.7	1,921.4	2,167.5	246.1	3,952.3	4,049.7	97.4
本町	1,401.9	1,734.6	332.7	1,680.0	1,998.1	318.1	3,081.9	3,732.8	650.9
中央	1,361.5	2,074.7	713.2	3,933.1	4,302.3	369.1	5,294.6	6,376.9	1,082.3
東中野	665.9	1,211.4	545.5	986.7	1,885.8	899.1	1,652.6	3,097.1	1,444.5
中野	1,748.1	1,661.7	-86.4	3,367.6	3,818.5	450.8	5,115.7	5,480.2	364.4
上高田	1,848.0	1,759.3	-88.7	1,279.3	1,410.3	131.0	3,127.3	3,169.6	42.3
新井	1,139.9	1,344.7	204.8	1,215.9	1,721.3	505.3	2,355.8	3,066.0	710.2
沼袋	1,952.4	1,487.0	-465.4	575.9	651.7	75.8	2,528.3	2,138.7	-389.6
松が丘	1,077.2	930.0	-147.2	656.4	793.3	136.9	1,733.6	1,723.3	-10.2
江原町	1,549.2	1,548.0	-1.2	636.5	737.0	100.5	2,185.7	2,285.0	99.3
江古田	1,936.7	1,789.3	-147.4	1,139.7	1,269.3	129.6	3,076.4	3,058.6	-17.8
丸山	921.5	838.6	-82.9	700.5	649.5	-51.0	1,622.0	1,488.1	-133.9
野方	1,969.3	1,726.1	-243.2	726.3	1,048.5	322.2	2,695.6	2,774.6	79.0
大和町	902.1	982.1	80.0	733.4	610.8	-122.6	1,635.5	1,592.9	-42.6
若宮	1,828.3	1,609.7	-218.6	706.9	843.0	136.1	2,535.2	2,452.7	-82.5
白鷺	2,844.1	2,694.3	-149.8	1,600.8	1,880.5	279.7	4,444.9	4,574.8	129.8
鷺宮	2,514.3	2,600.1	85.8	904.0	1,234.6	330.6	3,418.3	3,834.6	416.3
上鷺宮	4,117.8	3,742.2	-375.6	1,774.4	1,676.4	-98.0	5,892.2	5,418.6	-473.6
区全体	33,231.6	33,476.0	244.4	26,050.5	30,050.7	4,000.3	59,282.1	63,526.7	4,244.7